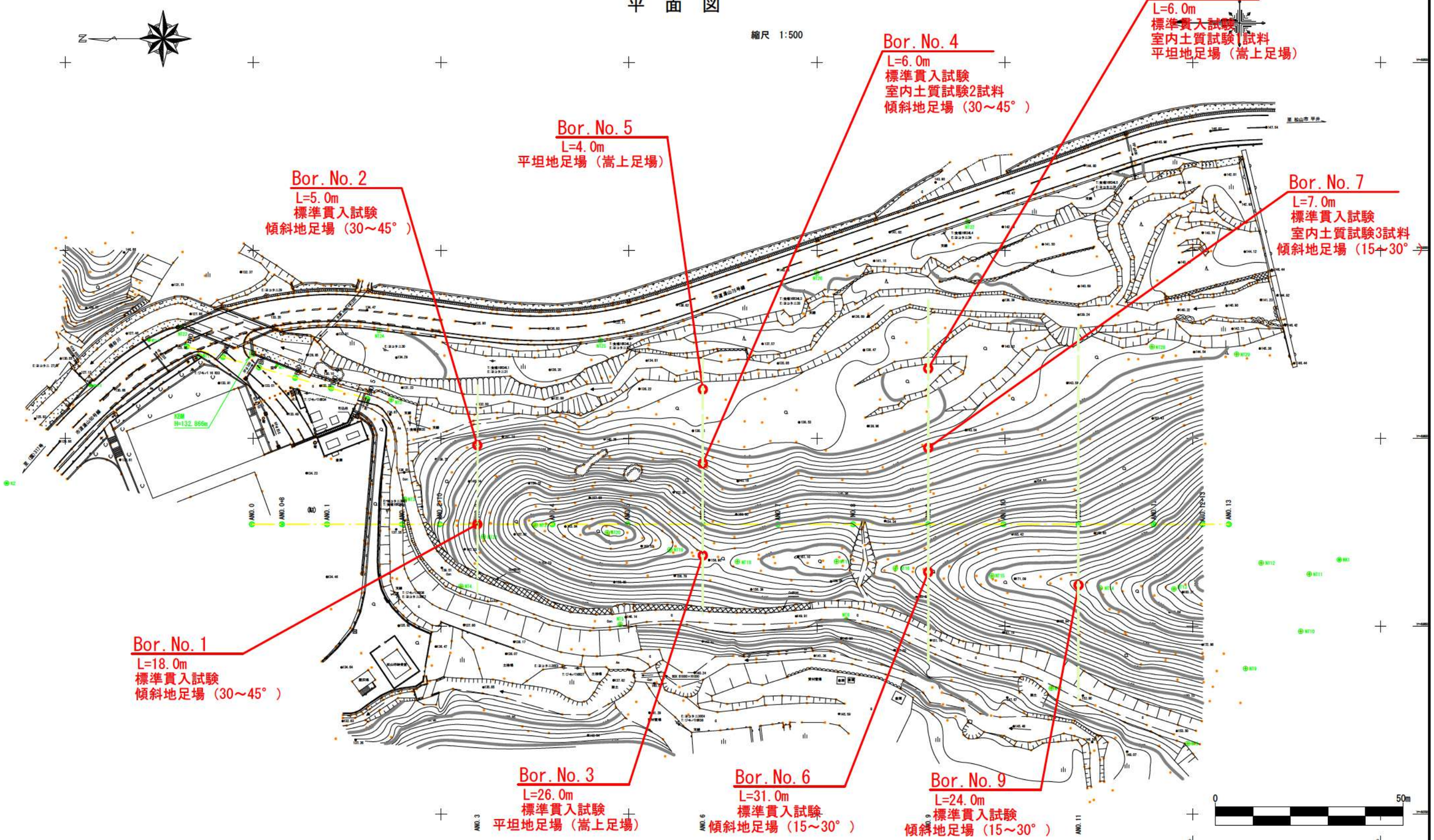
新斎場敷地ボーリング柱状図

平　面　図

縮尺　1:500



調査ボーリング位置
モノレール架設ルート（尾根ルート）
モノレール架設ルート（谷ルート）

図面名	平　面　図		
縮　尺	1:500	単　位	M
業務番号	――――		
業務名	松山市斎場再整備地質調査業務委託		
業務箇所	松山市食場町		
路線名	松山市斎場	図面番号	1 / 1

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 57.356″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月24日～令和03年09月01日	東経	132° 49′ 23.820″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 [redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
孔口標高	T.P. 150.53 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 40°
総削孔長	18.00 m					使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1B型
							エンジン：ヤンマーNFD-12型　ポンプ：東邦地下工機BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	150.43	0.10		表土	暗褐							腐植主体．礫混じり砂．													
1	149.03	1.50		粘土質砂礫	黄褐							崩積土．下部は原位置風化土？礫は風化礫主体わずかに新鮮礫混じる．	8/27 1.87	16				100	116 ケーシング	S/M	0.1	50	0.0	無水／0	0
2	145.28	5.25		礫岩	褐灰	w3	h2	D	IV	c	D	5割程度が岩芯まで風化が進行して土砂化している．一部岩片が比較的新鮮で割れ目により礫状コアで採取される．礫はφ2mm～30mm．マトリックスは粗粒砂岩．	8/28 3.12	50 50 50 50			8/25	80		ダブル／ダイヤ	0.0	70	0.1	泥水／5	4
6	141.33	9.20		礫岩	暗灰	w2	h1	C	III	c	CM	短柱状コア主体で採取される．φ2mm～10mmの細礫を主体とする礫岩．マトリックスは細粒砂岩．最大礫径は30mm．亀裂が発達する．砂岩・泥岩に比べて亀裂少ない．亀裂沿いに風化が進行．亀裂面は褐色を呈する．	8/29 9.58				8/26	75	90 ケーシング			80	0.1	泥水／8	5
10	140.53	10.00		砂岩泥岩互層	褐灰	w2	h2	C	IV	c	CL	亀裂が発達．亀裂に沿って風化が進行．亀裂面褐色を呈する．													
	140.13	10.40		泥岩	暗灰	w1	h1	B	III	b	CM	極細粒砂岩から泥岩．層理面は50度前後．亀裂にそって若干風化．													
11	139.53	11.00		泥岩	褐灰	w2	h2	D	V	d	D	60度前後の亀裂が1から2cm間隔で発達．													
	139.03	11.50		砂岩泥岩互層	褐灰	w2	h2	C	IV	c	CL	亀裂が発達．亀裂に沿って風化が進行．亀裂面褐色を呈する．													
12	136.38	14.15		砂岩	灰	w1	h2	C	IV	c	CM	細粒砂岩．岩片は新鮮で硬質．亀裂が発達し亀裂の一部は開口．高角度の亀裂面を白色脈が充填．					8/27	75	66		0.2	80	0.1	泥水／5	3
15	134.08	16.45		砂岩泥岩互層	褐灰	w2	h2	D	V	d	CL	網目状に亀裂が発達．亀裂面には白色の脈が充填．亀裂はほぼ密着しているが亀裂に沿って分離しやすい．													
17	132.53	18.00		砂岩泥岩互層	暗灰	w1	h1	B	III	b	CM	細粒砂岩と泥岩の互層．砂岩優勢．層理面角度は50度．亀裂が発達．亀裂に沿って風化が進行．					8/28						0.1	泥水／8	4

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　R Q D [%]

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 57.360″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年09月02日～令和03年09月06日	東経	132° 49′ 24.638″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
				ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号		
孔口標高	T.P. 141.52 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	5.00 m	使用機種	試錐機：東邦地下工機DO-D型				
			エンジン：ヤンマーNDAD-8		ポンプ：東邦地下工機BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔 削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	141.12	0.40		粘土質砂礫									表層5cmは表土で腐植主体．礫は風化角礫φ2mm～15mm．													
1				礫岩		w3	h2	D	IV	d	D	3, 13 [13], (100)	礫径2から40mmの亜円礫．マトリックスは砂岩．高角度の亀裂発達．岩芯まで風化進行．		16 / 50				80	90ケーシング	ダブル／ダイヤ	0.0	80	0.1	泥水／3	2
2	139.12	2.40																				0.1	90			
3				礫岩		w2	h1	C	IV	c	CL	16 [26], (100); 26 [39], (100)	礫径2から40mmの亜円礫．マトリックスは砂岩．高角度の亀裂発達．亀裂に沿って風化進む．上層より新鮮．		50 / 50				75				120	0.1	泥水／3	2
4	137.02	4.50													50					66		0.2				
5	136.52	5.00		砂岩		w1	h1	B	III	b	CM	[37] 37, (100)	細粒砂岩．高角度の亀裂発達（白色脈充填）．					9/3						0.1	泥水／3	4

標準貫入試験 N値：1.15, 1.45, 2.15, 2.40, 3.05, 3.21, 4.05, 4.17
(5, 6, 5)
(16, 21 13/50)
(19 31/60)
(25 25/20)

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 55.407″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月17日～令和03年08月25日	東経	132° 49′ 23.513″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 [redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
孔口標高	T.P. 158.99 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	26.00 m	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1B型	エンジン：ヤンマーNFD12	ポンプ：東邦地下工機BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日
	158.89	0.10		礫混じり砂質シルト	暗褐								表土．腐食含む．	
	158.59	0.40		シルト質砂礫	褐灰	w2	h2	C	IV	c	CL	11 [11] / (100)	原位置風化土．原岩は砂岩．	
1												8 [0] / (100)	亀裂が発達した砂岩．亀裂面は褐色を呈する．岩片は比較的硬質．	
2	156.74	2.25		砂岩	褐灰									
				砂岩	褐灰	w3	h2	C	IV	d	CL	3 / (100)	上部20cmは細礫含む．全体に風化して軟質．	
3	155.54	3.45												
	155.04	3.95		砂岩	褐灰	w4	h2	D	VI	d	D	4 / (100)	風化が著しく進行．粘土化している．	
4				砂岩	褐灰	w2	h2	C	IV	c	CL	7 / (100)	亀裂が発達した砂岩．亀裂面は褐色を呈する．岩片は比較的硬質．	
5	153.99	5.00												
				砂岩	褐灰	w3	h2	D	IV	d	D	4 / (100) 6 [0] / (100) 15 [15] / (100)	全体に風化が進行して軟質．短柱状コアと土砂状コアの互層．	8/20 6.61
6														
7														
8	150.99	8.00												
	150.69	8.30		礫岩	褐灰	w3	h2	D	III	d	CL	37 [82] / (100)	φ2mmから5mmの細礫主体．風化して軟質であるが，コアは棒状で採取される．	
9				砂岩	褐灰	w3	h2	D	IV	d	D	21 [21] / (100)		8/21 9.53
10												7 [0] / (100)		8/23 10.94
11												9 / (100)	砂岩が破砕されて断層角礫岩様を呈する．亀裂が発達し角礫岩状のコアで採取される．全体に風化が進行しており標準貫入試験が可能．	
12												4 / (100)		
13												3 / (100)		
14	144.99	14.00												
				砂岩	褐灰	w3	h2	C	IV	c	CL	6 [0] / (100) 12 [12] / (100) 4 [0] / (100) 23 [23] / (100)	亀裂が発達した細粒砂岩．亀裂面沿いに風化が進行．全体に風化して軟質．	
15														
16														
17	141.39	17.60												
				砂岩	暗灰	w2	h2	C	IV	c	CL	6 [0] / (100)	亀裂が発達した細粒砂岩．亀裂面沿いに風化が進行．色調が変化．岩片は還元色を呈する．	
18														
19	139.69	19.30												
				砂岩	褐灰	w4	h2	D	V	d	D	7 / (100) 3 / (100) 6 / (100)	砂岩が破砕されて断層角礫岩様を呈する．亀裂が発達し角礫岩状のコアで採取される．	
20														
21														
22	136.99	22.00												
				砂岩	暗灰	w2	h2	C	IV	c	CL	8 / (100)	亀裂が発達した砂岩．亀裂面は褐色を呈する．岩片は比較的硬質．	
23	135.64	23.35												
				砂岩	暗灰	w2	h2	C	IV	c	CL	4 / (100)	高角度の亀裂発達．岩片は比較的硬質．	
24	134.69	24.30												
				砂岩泥岩互層	暗灰	w2	h2	D	IV	d	CL	11 / (100)	棒状コアで採取されるが，無数の亀裂が発達しており軟質．	
25	133.69	25.30												
				泥岩	暗灰	w2	h2	D	IV	d	CL	7 / (100)	棒状コアで採取されるが，無数の亀裂が発達しており軟質．	
26	132.99	26.00												

標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
					116ケーシング			50			
50 (3.65, 3.93) (3, 11 36/80)			8/18	50		ダブル／ダイヤ	0.0	60	0.1	泥水／5	4
50 (5.15, 5.40) (15, 18 17/50)				50	90ケーシング		0.1	70	0.1	泥水／5	4
50 (6.15, 6.38) (17, 18 15/30)											
50 (7.15, 7.43) (11, 20 19/80)											
50 (9.15, 9.35) (15, 25, 10/0)			8/19	50			0.1	80	0.1	泥水／8	8
50 (10.15, 10.34) (16 34/90)											
50 (11.15, 11.31) (22 28/60)											
50 (12.15, 12.31) (24 26/60)											
50 (13.15, 13.27) (30 20/20)											
			8/20	60			0.2	80	0.1	泥水／8	8
			8/21								
			8/23	60	66		0.2	80	0.1	泥水／8	8

岩盤ボーリング柱状図

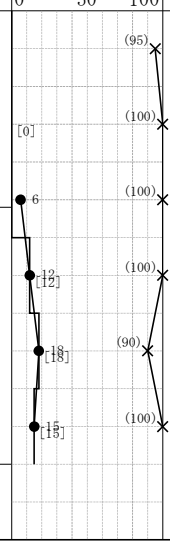
調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

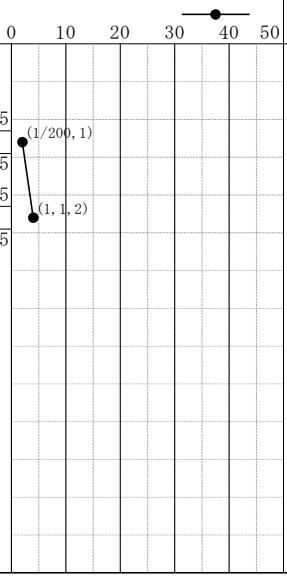
事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 55.412″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月31日～令和03年09月02日	東経	132° 49′ 24.466″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 [redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 [redacted]号
孔口標高	T.P. 142.95 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	6.00 m	使用機種		試錐機	東邦地下工機DO-D型		
				エンジン	ヤンマーNFD-8	ポンプ	東邦地下工機BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔 削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	142.85	0.10		表土	褐								腐植主体．砂質シルト．						50	116 ケーシング	ダブル／ダイヤ	0.1	50	0.1	泥水／3	1
	142.55	0.40		礫混じり粘土	黄褐								やわらかい．礫は風化礫の細礫主体．													
1				粘土質砂礫	褐							[0]	礫は砂岩の角礫．礫はφ20mm前後が主体であるが，コア長100mm（想定礫径300mm）を含む．マトリックスは粘土質，		2 / 4				60	90 ケーシング		0.1	60	0.1	泥水／3	1
2	140.35	2.60										6														
3				砂岩	灰	w1	h1	C	IV	b	CM	12 [12]	新鮮で岩片は硬質．亀裂が発達する，亀裂の一部は褐色を帯びる．白色脈が発達する．					9/1	50		0.2	180	0.1	泥水／5	0
4												18 [18]														
5												15 [15]								66						
6	136.95	6.00																9/2								





岩盤ボーリング柱状図

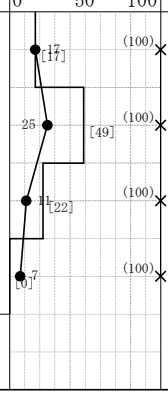
調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.5	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 55.416″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年09月03日～令和03年09月07日	東経	132° 49′ 25.231″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
孔口標高	T.P. 137.45 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	4.00 m	使用機種	試錐機：東邦地下工機DO-D型		エンジン：ヤンマーNFD-8	ポンプ	東邦地下工機BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日	原位置試験	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	137.15	0.30		礫混じり粘土	褐								表土．礫は細礫．腐食含む．						100	90ケーシング	ダブル／ダイヤ	0.0	60	0.1	泥水／3	1
	136.95	0.50		粘土質砂礫	黄褐								やわらかい．礫は風化した円礫（河床礫）．φ5mm～40mm．													
1																										
2				砂岩	灰	w1	h1	C	IV	b	CM		新鮮で岩片は硬質．亀裂が発達する，亀裂の一部は褐色を帯びる．白色脈が発達する．						75			0.2	180	0.1	泥水／5	0
3																										
4	133.45	4.00																9/4		66						



岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.6	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 53.458″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月05日～令和03年08月18日	東経	132° 49′ 23.356″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
孔口標高	T.P. 163.74 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 10°
総削孔長	31.00 m					使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1B型 エンジン：ヤンマーNFD-12　ポンプ：東邦地下工機BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	163.54	0.20		礫混じり砂質シルト	暗褐								表土．腐食含む．													
	163.04	0.70		シルト混じり砂礫	褐灰								原位置風化土．原岩は砂岩．礫は岩芯まで風化．													
1															15				100	116ケーシング	ダブル／ダイヤ	0.0	50	0.0	無水／0	0
2															38			8/6								
3				砂岩	褐灰	w4	h2	D	IV	d	D		新鮮な部位が3割程度残存するが，概ね岩芯まで風化して軟質．ハンマーの軽打で簡単に崩れる．		50								60			
4															50				70							
5	158.34	5.40													50							0.1	70	0.1	泥水／5	4
	157.84	5.90		泥岩	暗褐	w3	h2	C	III	c	CL		泥岩から極細粒砂岩．亀裂発達．亀裂に沿って風化．		50											
6													粗粒砂岩主体で細礫を含む．亀裂が発達．亀裂沿いに風化が進行し一部土砂化している．断層角礫岩様を呈する．亀裂は高角度で亀裂面が安定しないものと20度から60度のシャープなものが見られる．低角度の亀裂の一部に白色脈を伴う．		50			8/7									
7																										
8				砂岩	褐灰	w4	h2	D	V	d	D				50				50							
9	154.34	9.40													50							0.1		0.1	泥水／5	4
10																		8/9								
11													中粒砂岩．11.7m，13.7m～13.8mに泥岩の薄層（0.5～1cm）を挟む．層理面は20度程度．12.4m付近に低角度（10度～25度）の白色脈あり．亀裂が発達しており，コアは礫状から短柱状コアで採取される．高角度の亀裂目立つ．亀裂面沿いに風化振興．101m～10.4m，14.7m～15.3m，15.5m～15.9m，16.3m～16.8mの間は破砕されて角礫状．断層破砕岩の様相を呈する．														
12																								0.1	泥水／8	8
13				砂岩	灰	w3	h2	C	IV	c	CL								70							
14																						0.2	80			
15																		8/10								
16	146.94	16.80																						0.1	泥水／8	8
17	146.24	17.50		礫岩	褐灰	w3	h2	C	V	c	CL		粗粒砂岩～細礫岩．礫は2mm程度の細礫主体．上層とは漸移関係．亀裂発達破砕進む．													
	145.84	17.90		砂岩	灰	w2	h1	B	IV	b	CM		砂岩主体．上部10cm極細粒砂岩～泥岩．以深は細粒砂岩．岩片は硬質．亀裂発達．						70							
18																										
19	144.24	19.50		礫岩	灰	w2	h2	C	IV	c	CL		細礫岩．高角度の亀裂が発達する．亀裂に沿って風化が進行18.6m～18.7m白色脈．													
20																		8/11								
21				砂岩	暗灰	w2	h2	C	IV	b	CM		細粒砂岩．岩片は硬質．亀裂が発達．亀裂沿いに風化進行．													
22	141.64	22.10																								
	141.34	22.40		泥岩	黒	w2	h2	C	IV	b	CM		泥岩～極細粒砂岩の互層．泥岩は厚さ5mm～3cm．層理面の角度35度．						70							
	140.84	22.90		砂岩	灰	w2	h2	C	IV	b	CM															
23																										
24				砂岩	灰	w2	h2	C	V	c	CL		細粒砂岩．岩片は硬質．亀裂が発達．亀裂沿いに風化進行．									0.2	80	0.1	泥水／8	8
	138.84	24.90											亀裂が発達．破砕されて断層角礫岩状を呈する部分と短柱状コアの互層．					8/13								
25																										
26				砂岩	褐灰	w3	h2	C	V	d	CL		亀裂の発達した砂岩．断層角礫岩様．亀裂に沿って風化進行．全体に褐灰色を帯びる．													
27	136.74	27.00																								
				砂岩	暗灰	w2	h2	C	V	d	CL		細粒砂岩～極細粒砂岩．色調は還元色．角礫状主体で採取される．破砕進行して一部粘土から砂状．						70	66						
28	135.54	28.20																								
	135.24	28.50		砂岩	黒	w1	h1	B	IV	b	CH		極細粒砂岩．亀裂発達するが亀裂面は新鮮．													
29	134.34	29.40		泥岩		w1	h1	C	III	b	CM		極細粒砂岩～泥岩．亀裂発達するが比較的新鮮．層理面40度．													
	133.74	30.00		砂岩	暗灰	w1	h1	C	IV	b	CL		細粒砂岩．新鮮であるが亀裂が発達コアは角礫状から短柱状．													
30				泥岩	黒	w1	h1	C	IV	b	CL		極細粒砂岩～泥岩の互層．色調は新鮮色を示すが亀裂が発達してもろい．					8/16								
31	132.74	31.00																								
32																										

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.7	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 53.466″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月21日～令和03年08月30日	東経	132° 49′ 24.642″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号						
孔口標高	T.P. 143.38 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 5°
使用機種	試錐機	東邦地下工機DO-D型					
総削孔長	7.00 m	エンジン	ヤンマーNFD-8	ポンプ	東邦地下工機BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔 孔径(mm)・孔壁保護	削孔速度(cm/h)	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
	143.03	0.35		礫混じり粘土	黄褐							(100)	表層5cmは表土．腐植主体．礫は風化細礫．					116ケーシング	100	ダブル／ダイヤ					
1				粘土質砂礫	赤褐灰							(100)	砂岩角礫主体．マトリックスは赤褐色シルト．植物片含む．		7 (1.15, 1.45, 2.15) (2,2,3)										
2	141.38	2.00										(100)			17 (2.45, 3.15) (5,6,6)			90ケーシング	60		0.1	50	0.1	泥水／3	0
3				玉石混じり砂礫	褐灰							(100)	砂岩礫．コア片長150mm（推定礫径450mm）．ほとんど礫よりなる．マトリックスは粗砂．		30 (3.35, 4.15) (12,18)										
4	139.38	4.00										(100)			50 (4.34, 5.05) (12 38/90)										
5				砂岩	暗灰	w2	h2	C	IV	c	CL	(100)	亀裂集中部は風化進行して標準貫入試験が可能．4.34mから4.6mの間は細礫岩．網目状の亀裂が発達．コア片が硬質な部分も簡単に分離する．		50 (5.14) (50/90)										
6												(100)			50 (6.15, 6.30) (14 36/50)			8/27	60		0.2	120	0.1	泥水／4	0
7	136.38	7.00																8/30		66					

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.8	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 53.470″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月06日～令和03年08月11日	東経	132° 49′ 25.462″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
孔口標高	T.P. 140.42 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	6.00 m	使用機種		試錐機	東邦地下工機D-1B型		
				エンジン	ヤンマーNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	140.22	0.20		礫混じり砂質シルト	暗褐								表土．腐食含む．													
1	138.82	1.60		シルト混じり砂礫	褐灰								河床堆積物．φ10m～20mmの亜円礫，φ20mm～30mmの亜角礫主体．最大礫コア片長6cm（推定礫家150mm）．礫は砂岩礫主体．マトリックスは砂からシルト．		30				50	90ケーシング	ダブル／メタル	0.1	50	0.1	泥水／5	5
2	138.02	2.40		玉石混じり砂礫	褐灰	w3	h1	C	III	c	CM		砂岩の転石．風化して全体に褐色を帯びる．岩片は比較的硬質．柱状コアで採取される．亀裂で3つの岩塊に分離．		1.15 / 1.45			60				0.0	60	0.1	泥水／5	4
3															(10, 10, 10)											
4	135.72	4.70		砂岩	暗灰	w3	h1	C	IV	c	CL		全体に原岩色系統の色調を呈す．亀裂が発達．亀裂に沿って風化が進行し，亀裂面は褐色の色調を呈す．4.35m亀裂集中．粘土を挟む．					50	66		ダブル／ダイヤ	0.2	70	0.1	泥水／5	5
5																										
6	134.42	6.00		泥岩	黒	w3	h1	C	V	d	CL		極細粒砂岩から泥岩．原岩色系統の色調を呈するが，亀裂が非常に発達．角礫状コア主体で採取される．亀裂面は褐色を帯びる．					8/9				0.1	60	0.1	泥水／5	4

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　　松山市斎場再整備地質調査業務委託

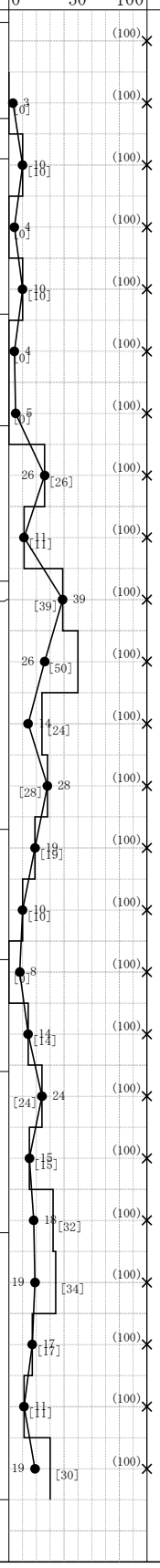
事業名または工事名

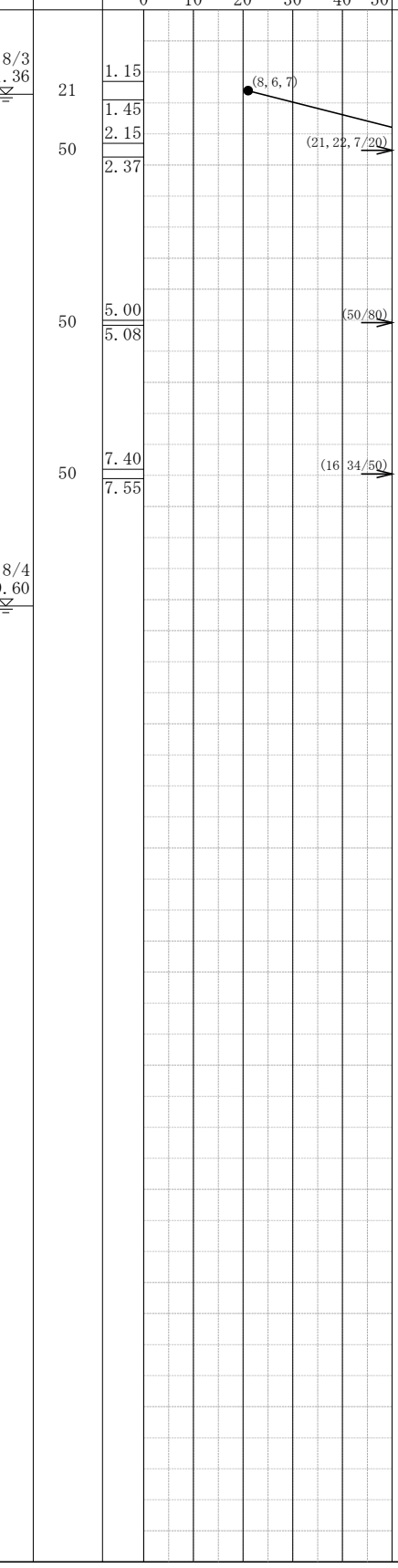
調査目的及び調査対象　　土地造成　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.No.9	調査位置	松山市食場町			北緯	33° 50′ 52.160″
発注機関	松山市生活衛生課			調査期間	令和03年08月02日～令和03年08月06日	東経	132° 49′ 23.230″
調査業者名	[redacted] 電話([redacted])	主任技師	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号	コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
						ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号 第[redacted]号
孔口標高	T.P. 173.39 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 10°
総削孔長	24.00 m					使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1B型
							エンジン：ヤンマーNFD-12　ポンプ：東邦地下工機BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔日	削孔速度 (cm/h)	孔径(mm)・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	173.19	0.20		礫混じりシルト質砂	暗褐							表土．腐食含む．													
1	171.64	1.75		シルト混じり砂礫	褐灰							原位置風化土．原岩は砂岩．礫は岩芯まで風化．	8/3 1.36	21				100	116ケーシング	S/M	0.0	50	0.0	無水／0	0
2	170.99	2.40		砂岩	褐灰	w4	h1	D	V	d	D	細粒砂岩．風化して軟質．亀裂に沿って風化が進行して土砂化．3割程度角礫状部残存．		50								60			
3				礫岩	灰	w3	h1	C	IV	c	CM	2mm～5mmの細礫を主体とする．マトリックスは砂．柱状コアで採取されるが，亀裂が発達し亀裂沿いに風化が進み岩質はもろい．							90ケーシング						
4	168.49	4.90															8/2								
5				砂岩	褐灰	w3	h1	C	IV	c	CL	細粒砂岩．全体に風化が進行して軟質．亀裂が発達．亀裂沿いに風化が進行．		50				60		0.1			0.1	泥水／5	4
6	166.69	6.70																							
7				砂岩泥岩互層	暗灰	w3	h1	C	IV	c	CL	単層の厚さ数cmから10cm程度の互層．細粒砂岩と泥岩からシルト岩～極細粒砂岩．層理面の傾斜は20度から30度．亀裂が発達し亀裂沿いに風化が進む．9m以深逸水．		50								70			
8																									
9	164.19	9.20											8/4 9.60												
	163.89	9.50		砂岩	暗灰	w2	h1	C	III	c	CM	極細粒砂岩からシルト岩．緻密で岩片は硬い．亀裂が発達し亀裂沿いに風化している．掘進水逸水．											0.1	泥水／5	0
10																	8/3						0.1		4
11				礫岩	灰	w2	h1	C	IV	c	CL	5mmから25mmの礫を含む．礫径は下方ほど大きくなる（上方細粒化）．亀裂が発達．亀裂沿いに風化が進行．								ダブル／ダイヤ				泥水／5	
12																							0.1	泥水／8	8
13	160.19	13.20																							
14				砂岩	暗灰	w2	h1	C	IV	c	CL	短柱状コアで採取される．亀裂が発達する．						80			0.2	80	0.1		0
15	158.09	15.30																						泥水／8	
16				砂岩	褐灰	w2	h1	C	IV	c	CL	角礫状コアで採取される．亀裂が発達する．深度14m付近で逸水．							66				0.1	泥水／8	8
17	156.29	17.10																							
18				砂岩	灰	w3	h1	D	V	d	CL	角礫状コアで採取される．礫間は土砂状．					8/4								
19	153.69	19.70																							
20				砂岩	暗灰	w2	h1	C	IV	c	CM	短柱状コア主体．亀裂発達．亀裂に沿って風化．22.5mから22.7m亀裂集中．						70			0.2	80	0.1	泥水／8	8
21																									
22																									
23																									
24	149.39	24.00															8/5								

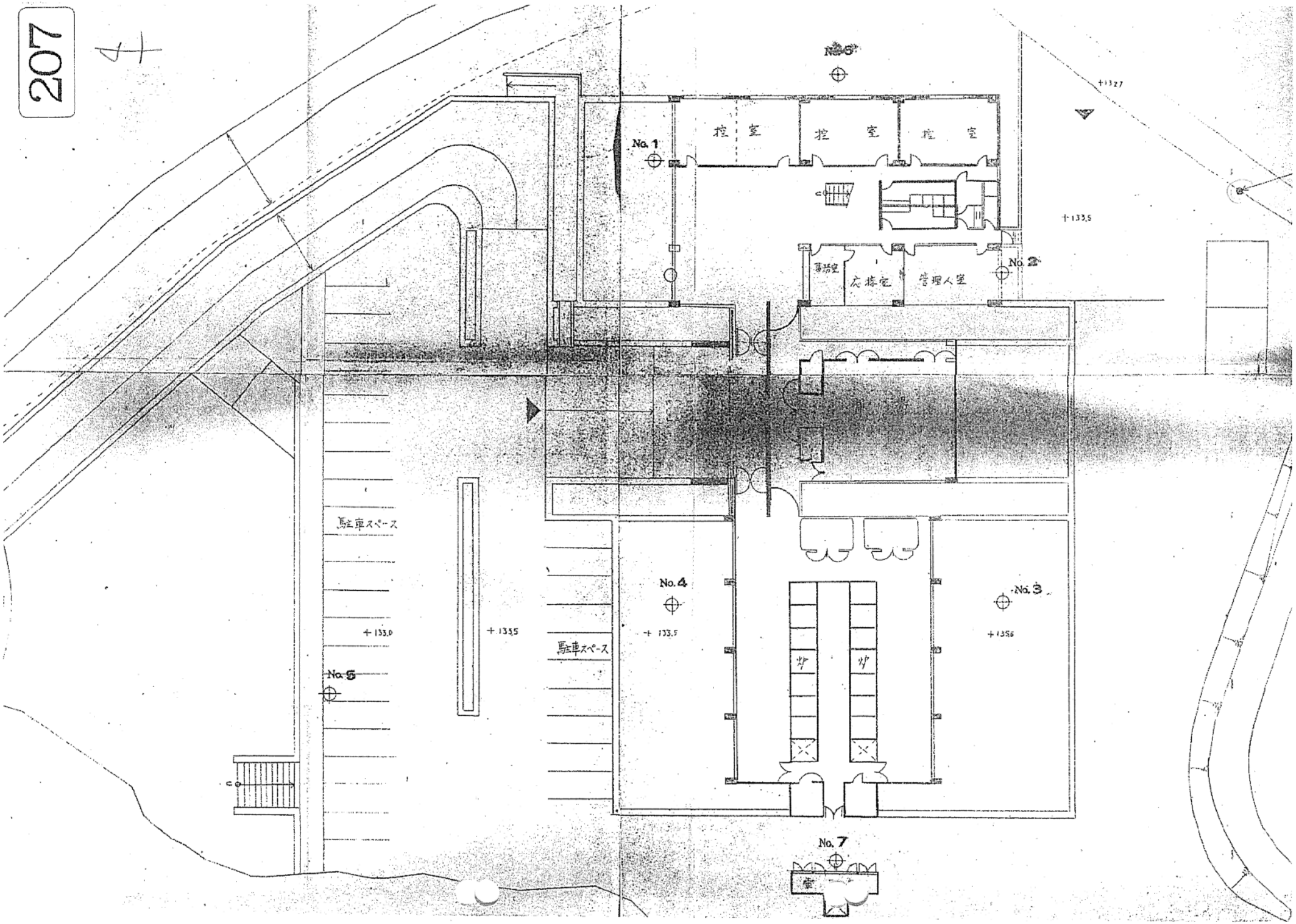
コア採取率 (%)　最大コア長 cm　R Q D [%]





現斎場敷地ボーリング柱状図

207


No. 6
No. 1
控室
控室
控室
+132.7
+133.5
No. 2
事務室
応接室
管理人室
駐車スペース
No. 4
No. 3
+133.0
+133.5
+133.5
+133.6
駐車スペース
No. 5
No. 7

地質柱状図

ボーリング番号	No. 1	調査年月日	昭和50年 3月24日 ～ 昭和60年 5月2
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ 66 mm
調査場所	松山市横谷	深度	地下 7.00 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 3.00 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M.—3.240)

標高 13.0658

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面単下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度・コンシステンシー	記事	試料番号	試料採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
		0.30	3540	0.30		砂質粘土	暗黒灰色		表土(田土)	1							
		0.55	3790	0.25		砂質土混り礫	茶灰色		礫多くφ2～6cm	2							
1						礫、玉石 転石	淡茶白色	非常に密な	礫、玉石 転石多く 砂岩系	3	1.00 2.00						
3	▽ 3.00	2.80	6040	2.25		岩	淡黒色		結晶片岩 硬岩 砂岩も含む	4	3.00 4.00 5.00 6.00 7.00	礫、玉石 転石のため 打撃不能					
7		7.00	10240	4.20													

地質柱状図

ボーリング番号	No. 2	調査年月日	昭和50年 3月26日 ～ 昭和50年 3月
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ66㎜
調査場所	松山市横谷	深度	地下 7.00 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 1.80 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M −0.255)

標高133.643

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面準下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度	コンシステンシー	記事	試料番号	採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
			−0.255															
		0.35	0.605	0.35		砂質土	暗黒茶色			表土(田土)	1							
1						礫、玉石	淡黒白色	非密常にな		砂岩系礫、玉石多し 礫φ0.2～20cm 玉石φ20cm以上	2	礫、玉石のため打撃不能						
2	▽ 1.80	1.80	2.055	1.45														
3																		
4						岩	暗黒色			結晶片岩 砂岩も含む 亀裂あり	3							
5																		
6																		
7		7.00	7.255	5.20														

地質柱状図

ボーリング番号	No. 3	調査年月日	昭和50年 3月25日 ～ 昭和50年 3月26日
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ66 mm
調査場所	松山市横谷	深度	地下 6.40 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 2.60 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M +0.953)

標高 134.851

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面準下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度	コンシステンシー	記事	試料 番号	採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
			1.953															
		0.30	0.653	0.30		砂質土	暗黒灰色			表土(田土)	1							
1		1.40	0.447	1.10		礫混り砂質土	黄茶色		中位	礫少量 細粒土	2	1.00	2	2	2	6		
2		2.70	1.747	1.30		礫混り砂質土	暗黄色		特別に堅い	礫多く φ0.2～3cm 細粒土締つている	3	1.30 2.00 2.30	7	10	15	32		
3	2.60	3.50	2.547	0.80		砂混り礫、玉石	暗茶色	非常に密な		礫、玉石多し 礫φ0.2～20 cm	4	3.00						
4						礫 玉石 転石	淡茶白色			礫、玉石多し 砂岩系	5	4.00 5.00	礫、玉石 転石のため 打撃不能					
6		5.70	4.747	2.20		岩	暗黒色			結晶片岩 砂岩も含む	6	6.00						
		6.40	5.447	0.70														

地　質　柱　状

ボーリング番号	No. 4	調査年月日	昭和50年3月27日～[illegible]
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ 66 mm
調査場所	松山市横谷	深度	地下 12.00 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 3.00 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M ― 0.252)

標高 133.646

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面準下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度	シーコンシステン	記事	試料 番号	採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
			―0.252															
		0.45	0.702	0.45		砂質土	暗黒色			表土	1							
1		1.30	1.552	0.85		細砂	淡黄茶色	密な		粒径一様	2	1.00	14	16	18	48		
2						砂礫、玉石	淡灰茶色	非常に密な		礫、玉石多し 玉石φ20cm以上 砂岩系	3	礫、玉石のため打撃不能						
3	▽ 3.00	3.40	3.652	2.10														
4		4.00	4.252	0.60		礫混り砂質粘土	暗茶黒色		特別に堅い	礫やや多く φ0.2～3cm やや砂質土	4							
5						岩	淡黒色			結晶片岩	5							
6																		
7																		
8										砂岩を含む								
9																		
10																		
11																		
12		12.00	12.252	8.00														

地質柱状図

ボーリング番号	No. 5	調査年月日	昭和50年3月29日～昭和50年[illegible]
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ66㎜
調査場所	松山市横谷	深度	地下 10.00 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 2.30 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M ― 1.968)

標高131.93

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面準下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度	シーコンシステンシー	記事	試料番号	採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
		0.25	2.218	0.25		砂質土	暗灰色			表土(田土)	1	礫、玉石のため打撃不能						
		0.80	2.768	0.55		礫混り砂	淡茶黄色	非常にゆるい		礫φ0.2～1cm 細砂多し	2							
1						礫 玉石 転石	暗黒白色	〃		砂岩系 礫、玉石多し	3							
2		1.80	3.768	1.00		礫混り砂質土	灰茶色		特別に堅い	礫多く φ0.2～3.5cm 細粒土	4							
	2.30	2.70	4.668	0.90														
3		3.80	5.768	1.10		砂質土混り礫、玉石	灰茶黄色		〃	砂質土少々 礫岩 砂岩 系	5							
4		4.30	6.268	0.50		岩	淡黒白色			結晶片岩	6							
5						岩	黒色			黒色礫岩	7							
6																		
7																		
8																		
9																		
10		10.00	11.968	5.70														

地質柱状図

ボーリング番号	No. 6	調査年月日	昭和50年 3月30日 ～ 昭和50年 4月 [illegible]
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ66 mm
調査場所	松山市横谷	深度	地下 12.00 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 2.20 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M −1.148)

標高132.75

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面準下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度	シーコンシステンシー	記事	試料 番号	試料 採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
			1.148															
		0.20	1.348	0.20		砂質土	暗黒色			表土	1							
1		1.40	2.548	1.20		礫混り玉石 砂質土	暗黄茶色		特別に堅い	礫多く φ0.2～20cm 細粒土	2	礫、玉石のため打撃不能						
2	▽ 2.20	2.60	3.748	1.20		砂質粘土混り礫、玉石、転石	暗茶色		〃	玉石多し 玉石φ20cm	3							
3						礫、玉石	暗黒白色	非常に密な		礫φ0.2～20cm 玉石φ20cm 以上	4							
6		5.80	6.948	3.20		岩	暗黒色			結晶片岩 砂岩を含む 岩の亀裂あり	5							
12		12.00	13.148	6.20														

地質柱状図

ボーリング番号	No. 7	調査年月日	昭和50年 4月 2日～昭和 年 月 日
調査名	松山市斎場新築工事地質調査	孔径	φ66mm
調査場所	松山市横谷	深度	地下 12.00 m
使用機械	ロータリー式試錐機	孔内水位	GL ～ 2.40 m
施工者名	松山地下開発株式会社	調査基準面	GL(仮B.M ＋0.252)

標高134.15

標尺 m	孔内水位 m	深度 地面表下 m	深度 基面準下 m	層厚 m	地質図示	土質名	色調	相対密度	コンシステンシー	記事	試料 番号	採取位置 m	標準貫入試験結果表 10cm毎の打撃回数 10	20	30	30cm計 (N)	修正 (N)	貫入抵抗曲線 (回/30cm) 10 20 30 40 50
			+0.252															
		0.25	+0.002	0.25		砂質土	暗黒色			表土	1							
1						礫混り砂質土	暗黒黄色		非常に堅い	礫やや多く φ0.2～2cm 中粒土	2	1.00 / 1.30	5	5	6	16		
		1.60	1.348	1.35														
2						砂質土混り礫	茶黄色		特別に堅い	礫多く φ0.2～20cm やや砂質粘土	3							
	2.40	2.40	2.148	0.80														
3						砂質土混り礫、玉石	暗白黒色		〃	礫、玉石多し 玉石φ20cm以上 砂岩系玉石	4	礫、玉石のため打撃不能						
4																		
5																		
		5.70	5.448	3.30														
6						礫、玉石	〃		〃	礫岩系の玉石	5							
		6.80	6.548	1.10														
7						岩	〃			結晶片岩 砂岩も含む	6							
8																		
9																		
10																		
11																		
12		12.00	11.748	5.20														